

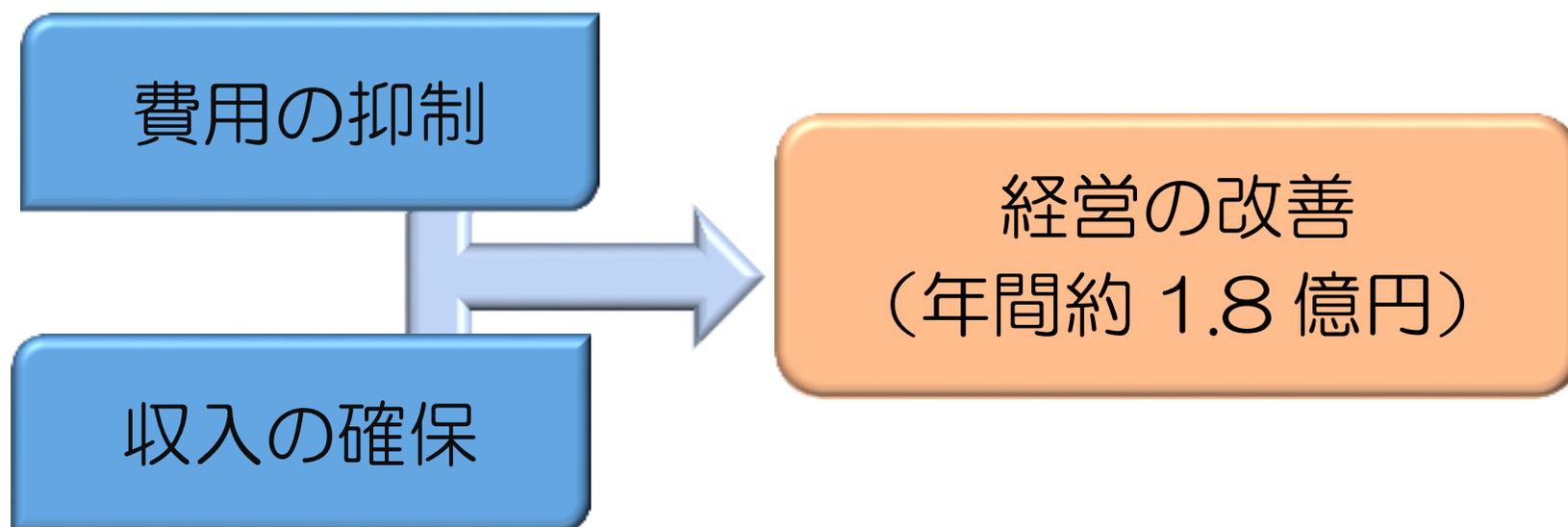
平成30年度
宍粟市水道事業経営審議会
(第3回)

- 1 穴粟市水道事業の将来見込み
- 2 費用の削減について
- 3 収入の確保について

1 穴粟市水道事業の将来見込み

◇ 安定した経営の実現に向けて

水道事業の安定的な継続には、平成 49 年までの 20 年間に 36.3 億円（年間約 1.8 億円）に相当する経営の改善が必要となります。この実現のためには費用の抑制と収入の確保の両方が必要となります。



2 費用の削減について

◇ 人件費の抑制

	3カ年平均	抑制額	抑制後
費用	9,290万円 (11名)	△2,600万円 (△3名)	6,690万円 (8名)

※法定福利費を含みます。

人件費については、類似団体と比較しても高額となっていることから、(類似団体平均7,900万円)

- ①市民局まで含めた人員配置を見直すことによる人員の削減
- ②平均年齢を現在の47.8歳から引き下げることによる給与費単価の抑制

以上の方法により、年間2,600万円(約28%)の人件費の抑制を目指します。

2 費用の削減について

◇ その他の費用の抑制

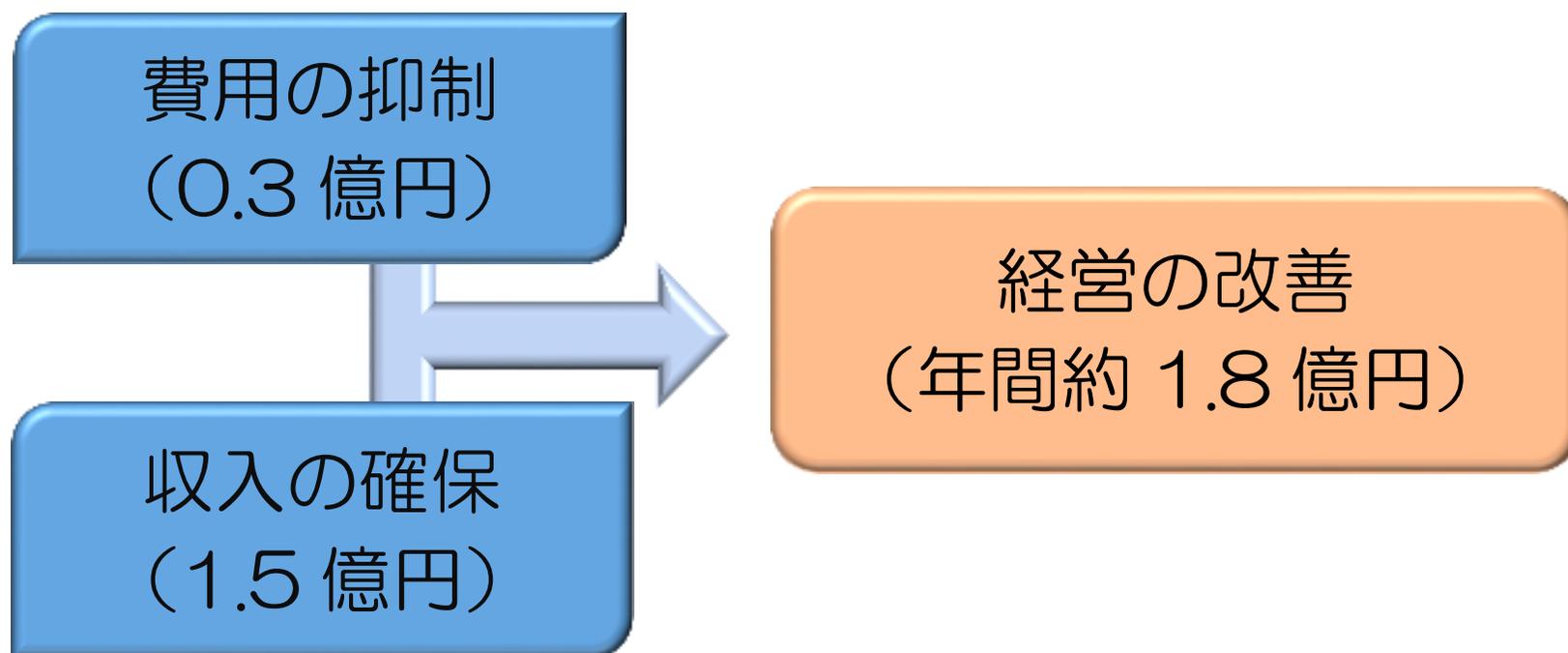
その他の経費についても、現在の1%に相当する額を削減目標として、年間329万円の削減を目指します。

科 目	費用
動力費	85,619
光熱水費	611
通信運搬費	6,609
修繕費	31,099
材料費	6,711
薬品費	462
路面復旧費	3,066
委託料	171,327
負担金	1,365
その他	22,805
小計	329,673
(×1%分)	3,297

3 収入の確保について

◇ 安定した経営のために必要な収入額

安定した経営の維持のために必要となる額、年間約 1.8 億円のうち、0.3 億円については更なる費用削減により確保することとし、残りの 1.5 億円については収入の増加が必要となります。



3 収入の確保について

◇ 収入の増加のために

平成 26 年度に簡易水道事業を統合した際に、料金改定を実施して料金の値下げを実施しています。有収水量の大幅な増加を見込むことは困難となっている状況の中、収入の確保については、料金改定により料金単価を増額させる方法が考えられます。

※料金収入の推移

	H25	H26	H27	H28	H29
有収水量 (m ³)	2,128,967	3,596,358	3,627,122	3,653,340	3,675,353
供給単価 (円/m ³)	237.25	204.29	184.44	184.25	184.09
給水収益 (円)	505,091,720	734,696,270	668,998,553	673,136,999	676,578,152

3 収入の確保について

◇ 料金改定の実施

※料金改定のパターン

	改定率	収入増加額 (1年あたり)	10年後 資金残高	特 徴
A	27%	1.8億円	9.2億円	費用の削減と組み合わせて料金改定を実施することで、運転資金の減少を止めることができ、残高を一定で維持できます。
B	22%	1.5億円	6.1億円	費用の削減と組み合わせて料金改定を実施することで、運転資金の減少は続くものの、減少が緩やかとなります。平成41年度まで、6.1億円以上の残高を維持できるため、経営が安定します。
C	20%	1.3億円	4.8億円	費用の削減と組み合わせて料金改定を実施することで、運転資金の減少は続くものの、減少が緩やかとなります。平成41年度まで、4.8億円以上の残高を維持できるため、経営が安定します。
D	15%	1.0億円	1.7億円	費用の削減と組み合わせて料金改定を実施することで、運転資金の減少は続くものの、減少が緩やかとなります。ただし、平成41年度には、残高が1.7億まで減少する見込みであり、経営の不安定さが残ります。
E	10%	0.7億円	-	費用の削減と組み合わせて料金改定を実施しても、運転資金の減少を止めることができず、平成40年度には資金不足に陥ってしまいます。

10年間の経営の安定した維持を基準として収支予測を立てています。以降も有収水量の減少などやその他の状況に応じて定期的に料金について検討していく必要があります。